

関東近県で豚流行性下痢 (PED) 発生

千葉県で今期初、茨城県で2例目となる PED の発生がありました。近県での発生が続いています。衛生管理と消毒の徹底をお願いします。

○千葉県（1例目）

1 発生の概要

発生日 11月14日(火)
発生農場 1農場(県中地域) ※再発生
飼養頭数 約3,480頭
発生頭数 哺乳豚170頭
症状 哺乳豚の下痢・死亡

2 経緯

11月14日 農場管理者から獣医師へ通報、検体送付
11月16日 獣医師が遺伝子検査陽性を確認、家畜保健衛生所に通報
11月17日 立入により、哺乳豚170頭の下痢、内30頭の死亡を確認
病性鑑定(遺伝子検査及び臨床診断)の結果、PEDと確認

○茨城県（2例目）

1 発生の概要

発生日 11月15日(水)
発生農場 1農場(県西地域)
飼養頭数 約2,000頭
発生頭数 繁殖豚1頭、哺乳豚120頭
症状 繁殖豚の食欲不振・泌乳停止、哺乳豚の下痢・嘔吐

2 経緯

11月15日 家畜飼養者から家畜保健衛生所へ通報
哺乳豚の下痢及び嘔吐、繁殖豚の食欲不振及び泌乳停止を確認
病性鑑定(遺伝子検査、免疫組織化学的検査及び臨床診断)の結果、
PEDと確認

《感染防止のためにお願いしたいこと》

- ・農場入口で、車両も人も必ず消毒(動力噴霧器等で念入りに)
- ・豚出荷時は、と畜場出口・農場出入口の両方で、車両・人の消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用衣服、靴(ブーツカバー)の着用、手指の消毒
- ・豚舎ごとの専任作業員、専用器具、専用作業衣・長靴の使用
- ・豚舎内に持ち込む物(医薬品、袋状飼料等)の外装の消毒
- ・ワクチンの適切な使用(妊娠豚への2回接種、適切な衛生管理)